



議員 吉秋勢 21 さん

令和3年度の予算編成について

問 令和3年度の予算編成方針について伺います。

答 市長 普通交付税の合併算定替特例も今年度で終了するため、歳出の抑制を前提とする予算編成を考えています。職員には、事業の優先度や緊急性、費用対効果などを検証し、最小限の予算で最大限の効果が発揮できるように指示しました。

また、新型コロナウイルス感染症への対応は、国や県からの交付金等の動向に留意し、財源の確保を図りながら、必要な対策をしていきたいと思っています。

問 令和3年度に重点的に取り組む事業について伺います。

答 市長 第2次総合計画の下、移住者の増加につなげる施策や、子育て支援の取り組みにより、人口減少対策を、より一層進めていきたいと思っています。

ます。

併せて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功にも貢献したいと考えています。

問 令和3年度の当初予算規模は、前年度と比較してどうか伺います。

答 総務部長 松尾小学校新校舎整備事業、松尾駅周辺排水対策事業など、支出額の多い事業を予定しているため、令和2年度当初予算より増額が予想されます。

問 本市には、合併前から使用している施設が多くあるほか、新たな施設も整備されています。施設の運営には多額の維持管理費が必要であり、市の財政を圧迫すると考えられますが、今後の取り組みについて伺います。

答 市長 予算総額に対して、施設の維持管理費の占める割合が多く、行政経費の硬直化につながる要因の一つと考えています。

歳入の減少が見込まれる中、将来的に施設の適正配置を進め、財政負担の軽減を図る必要があると考えます。

問 令和3年度の地方交付税の見通しについて伺います。

答 財政課長 普通交付税については、合併算定替の特例期間が今年度で終了し、一本算定となるため、減少する見込みです。

また、普通交付税の算定の基礎とな

る国勢調査人口についても減少が見込まれるため、その影響も懸念されます。

問 市税に関する歳入見込みについて伺います。

答 市民部長 個人市民税については、新型コロナウイルス感染症の影響等により、営業所得の大幅な減収見込みの一方、令和元年の台風災害により減収した農業所得の回復を考慮し、全体として、令和2年度当初予算と比べ、1%程度の減収を見込んでいます。

また、法人市民税については30%以上の減収、固定資産税については約0.7%の減収になると見込んでいます。

問 令和3年度の地方債発行額について伺います。

答 財政課長 令和2年度当初予算と比較し、増額となる見込みです。

問 令和3年度末の地方債残高の見込額について伺います。

答 財政課長 一般会計で、約236億円となる見込みです。

問 財政調整基金の繰入額の見込みについて伺います。

答 総務部長 令和3年度当初予算における繰入額は、新型コロナウイルス感染症の影響による市税等の収入の減少や、普通交付税の減少などの要因があるため、令和2年度よりも多い繰入額となるのが懸念されます。極力繰入を抑えることができるよう、予算編成に取り組んでいます。

算編成に取り組んでいます。

問 各学校における、感染症予防対策としての、加湿器の導入について伺います。

答 教育長 感染症予防対策としては、3密を避け、マスクの着用、換気、消毒作業を行うこととしています。加湿器は、現在、17校中11校の各普通教室に設置されていますが、未設置校についても要望があれば、準備を進める必要があると考えています。

問 災害対策におけるソフト面、ハード面の事業予定について伺います。

答 総務部長 ソフト面では、令和元年の風水害から得た教訓を反映させた、『災害時職員初動マニュアル（風水害編）』を策定しました。また、地域防災計画の改定や、県との共催による土砂災害防災訓練の実施を予定しています。

ハード面では、防災行政無線の多重化を行い、より確実な防災情報の提供ができるよう整備していきます。

